

2021年11月30日  
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

## 1 内政

(1) 13日、憲法裁判所はNGO法の改正案に対する異議申し立てを却下した。同改正により裁判所の判断なしにNGOを解体することが可能となるため、市民団体から批判があがっていた。

(2) 13日、国会はフリー・ゾーン法の改正法案を承認した。同改正によって参加が禁止されていたセクターがフリー・ゾーンへ進出できるようになる。マルーフ経済大臣は、同承認によって新たに3億米ドルの投資と3.2万の雇用創出が期待されると発言した。

## 2 内政（新型コロナウイルス関連）

### (1) グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、1,100～1,500/日で推移した。月末にかけ、アラート信号による規制レベル「赤」の市が増加し、5月31日～6月13日適応の規制では全340市中51%が「赤」となり、地方も含めたコロナ感染拡大が顕著となった。

### (2) 「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
4月19日～5月2日	131市	137市	72市	0市
5月3日～16日	138市	148市	54市	0市
5月17日～30日	152市	113市	75市	0市
5月31日～6月13日	174市	92市	74市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP ([https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/border20200331.html](https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html)) を参照。

### (3) 新型コロナウイルス・ワクチン・プートニクVの到着

プートニクV 1,600万回分が直接契約にて購入された。購入金額の半分、7,960万米ドルは既に支払い済みであるが、ワクチン到着の遅延に対し批判が高まっていた。

ア 5月5日、ロシアから5万回分のプートニクVが第1回目の配分として到着した。

イ 5月20日、ロシアから第2回目到着分としてプートニクV 5万回分が到着した。

#### (4) 優先グループごとのワクチン接種

ア 5月4日から、ワクチン接種第2優先グループ内の最優先グループである70歳以上を対象としたワクチン接種が開始した。

イ 13日よりワクチン優先第1グループ（第一線の医療従事者等）への第2回目のワクチン接種が開始された。

ウ 17日から、65歳以上への接種が開始された。

エ 24日から、慢性疾患を持つ18歳以上への接種が開始された。

オ 31日から、60歳以上への接種が開始された。

#### (5) メキシコで開発中の新型コロナウイルス・ワクチン「パトリア」の治験への参加

5月12日、エブラル・メキシコ外相は、メキシコで開発中の新型コロナウイルス・ワクチン「パトリア」の治験フェーズ3にグアテマラが参加する旨発言した。

3日、4日のジャマテイ大統領のメキシコ訪問中に同テーマが扱われ、5日、ブロロ外相が言及しているにもかかわらず、フローレス保健大臣は国会の質疑にて、同ワクチンの治験への参加に関し何も知らないと言った。

なお、「パトリア」は5月時点で治験フェーズ1が終了し、2021年末には承認される予定である。墨政府がグアテマラも参加すると述べたフェーズ3では、数千人を対象として行われ、副反応の特定等を行う。

#### (6) 英国型変異株の国内での検出

5月14日、保健省のロレナ・ゴベルン疫学担当官は、「3月に米国へ旅行した患者の検体から、英国型変異株が5月12日に検出された。同患者は4月7日に新型コロナウイルス感染症の症状を訴え、同日に検体を採取した。」と発表した。検出された英国型変異株はB.1.1.7で、世界保健機関（WHO）で懸念される変異株（VOC）として分類されている。

#### (7) 米国商工会議所による駐グアテマラ米大使へのワクチンの要請

ファン・パブロ・カラスコ在グアテマラ米商工会議所（AmCham）会頭は、5月12日、ポップ米大使に対し、パンデミックのコントロールなしには、同地域の経済回復は見込まれない旨を伝え、バイデン米大統領の援助政策の枠組においてグアテマラ及び中米諸国へ優先的に新型コロナウイルス・ワクチンの供与を行うよう要請した。なお、同要請は、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカに設置されたAmChamによって提示された。

## 4 外交

#### (1) ジャマテイ大統領のメキシコ訪問（5月3日、4日）

ア 5月3日、ジャマテイ大統領とブロロ外相は、ロペス・オブラドール墨大統領の招待に

応じ、メキシコ、キンタナ・ロー州で開催されたカスタ戦争終結の記念式典へ出席した。同式典でジャマテイ大統領は、歴史的記憶の回復と、先住民との和解を強調し、加えて、墨とグアテマラは共通の課題を共に克服してきており、現在、両国は組織的犯罪や移民等の問題に立ち向かう努力を行っている」と述べた。

イ 5月3日、ジャマテイ大統領はロペス・オブラドール墨大統領と会談を行い、二国間アジェンダの課題への取組みや、不法移民抑制、組織的犯罪や麻薬密売との闘い、社会・経済開発促進のための取決めを確認した。また、両大統領は、2021年4月27日に開催された港湾及び国境サービス団体による第20回会合において、貿易促進のために当国インヘニエロスと墨ヌエボ・オリサバの国境地帯に往来のための新たな拠点を合意されたことを歓迎した。

ウ 5月4日、ブロロ外相及びエブラル墨外相は外相会談を行い、二国間協力分野の合意文書に署名をした。これによりグアテマラと墨は「若者が未来をつくる (Jovenes Construyendo el Futuro)」プログラムの枠組みにおいて、貧困や移民を生み出す要因に立ち向かうための様々な協力プロジェクトや社会プログラムを開始することが可能になった。

エ ロペス・オブラドール墨大統領は自身のSNSで、“我々は「生命の種まき (Sembrando Vida)」及び「若者が未来をつくる」プログラムをグアテマラで開始するための署名の証人となった。”と発表した。「生命の種まき」はメキシコの主要プログラムの1つで、14億米ドルの投資の下、果樹や材木用の木10億本を100万ヘクタールの土地に植えるため、メキシコで40万人以上の農民を雇用する計画である。ロペス・オブラドール墨大統領は4月22日の気候変動サミットでバイデン米大統領へ同プログラムの拡大、追加で30億本の植林と120万人の雇用創出を支援するよう要請した。また、「若者が未来をつくる」は、メキシコで見習い実習生となるため、ひと月4,310ペソ(215米ドル)を33万人以上の実習生へ支援するというプログラムである。

## (2) イスラエル情勢への懸念及びイスラエル支持表明

5月11日、グアテマラ外務省は、イスラエル情勢に対する懸念を表明するプレスリリースを発売し、同プレスリリース内でイスラエルへの支持を表明した。他方、今次政府の対応を不満とするパレスチナを支持するグループによるデモ等が首都中心部で発生した。

## (3) ブロロ外相と台湾外交部長の電話会談

5月11日、ブロロ外相は呉釗燮台湾外交部長と電話会談を行った。外務省プレスリリース概要以下のとおり。なお、14日に予定されていたブロロ外相の台湾訪問はパンデミックにより両国が直面している状況を踏まえ延期された。

ア ブロロ外相と呉釗燮 (Joseph Wu Zhaoxie) 台湾外交部長は電話会談を通じ、相互利益に関する主要課題について対話を行った。

イ ブロロ外相は、台湾政府からの新型コロナウイルス感染症に対処するための保健用機材の援助に感謝の意を表明した。加えて、グアテマラ政府の優先事項は新型コロナウイルス・ワクチンの入手である事を伝えた。

ウ 呉台湾外交部長は、多国間分野でのグアテマラからの支援に感謝の意を表明し、両国間

の緊密で強固な二国間関係を強調した。また、台湾は（台湾製）ワクチン承認に近づいておりグアテマラは同ワクチンにアクセスできるようになると述べた。

エ 両外相は、両国間の貿易の増加、特にグアテマラから台湾向けの輸出が前年比で60.78%増加したことを祝福した。2006年7月1日に発効した自由貿易協定は、グアテマラ製品へのアクセスを改善するために重要な取り決めであり、二国間貿易の成長をけん引している。

#### （４）ブロロ外相の米国境視察

5月19日、ブロロ外相は移民問題への包括的取り組みの一環として、米国テキサス州の移民保護施設や移民・税関捜査局、家族保護サービス局等を訪問した。また、同州ダラスのグアテマラ人コミュニティのリーダー等と意見交換を行った。

#### （５）米国務省による中米北部三カ国における汚職関係者リストの発表

5月19日付当地主要紙は、ノルマ・トーレス米民主党下院議員（グアテマラ出身）の呼びかけによって米国務省による中米北部三カ国における汚職関係者リストが公表され、同リストに現国会議員を含む6名のグアテマラ人が記載された旨報じた。

ア アシスクロ・バジャダレス・ウルエラ元経済大臣（モラレス前政権での経済大臣、2018年1月～2020年1月在任）：汚職警官へ賄賂を支払い、コカインの密売で得た約1千万米ドルのマネーロンダリングを行い、米国の銀行口座へ送り私腹を肥やした。

イ カルロス・ダニーロ・プレシアド・ナバリホ・サン・マルコス県オコス市長：2021年1月、米国での麻薬密売及びメキシコとコロンビアの麻薬カルテルとの関係により、パナマの空港で逮捕された。

ウ バリオス・ロベルト・エスパーニャ・カセレス国会議員：みんなの党（Todos）より選出。2012年から国会議員を務め、2017年から2018年は国会第一書記に就任した。米国務省は、「信頼できる情報によると、同氏が影響力のある密売組織と汚職のネットワークにおける重要な仲介役であったと示している。」と発表。

エ フェリペ・アレホス・ロレンサナ国会議員：みんなの党（Todos）より選出。前国会第一書記（2020～2021年）で重大な汚職に関与した。米国務省は、「同氏は国会議員として就任している間、私腹を肥やすために汚職を行っていた。同時に、その行為は米国企業の国際経済活動へ深刻な損害を与えた。」と発表。

オ グスタボ・アレホス元大統領私設秘書：コロン元大統領の私設秘書（2008年から2012年）。数々の重大な汚職に関わったとし、現在裁判が進行中。

カ マリオ・アミルカル・エストラダ・オレジャーノ国民革新党（UNE）元党首：同氏がグアテマラの大統領に選出されるための計画の一環で、米国へコカインを輸送する見返りとしてメキシコのシナロア・カルテルへ1千万～1.2千万米ドルを要求したとして、米国で起訴された。

#### （６）ハリス米副大統領と当国元司法関係者及び元判事による会合

ハリス米副大統領は、5月19日にワシントンD.C.にてテルマ・アルダナ元検事総長、ク

ラウディア・パス・イ・パス元検事総長及びグロリア・ポラス元憲法裁判所判事、クラウディア・エスコバル元上訴裁判所判事と会合を開催した。ハリス米副大統領は、汚職は不法移民の要因の1つであるとし、グアテマラで汚職と闘っている人々を知るためにグアテマラの元検事総長及び判事との会合開催を決定した。

#### (7) ジャマテイ大統領のエクアドル大統領就任式出席

ア ジャマテイ大統領はブロロ外相及びマルーフ経済大臣と共に5月24日に開催されたギジェルモ・ラッソ・エクアドル大統領就任式出席式に参加するため、23日、キトに到着した。グアテマラとエクアドルは外交関係樹立131周年を迎える。

イ ブロロ外相はコスタリカ外相、エクアドル外相、ブラジル外相、パナマ外相、チリ外相との二国間会談を行った。

## 5 経済

(1) 2021年第1四半期の輸出額は昨年を12.9%上回り、34.3億米ドル(+3.9億米ドル)を記録した。輸出額上位から、カルダモン、繊維・衣類、砂糖、バナナ、コーヒーであった。

(2) 世界銀行が発表した「ビジネス環境の現状 Doing Business 2020」において、グアテマラは190カ国中96位。11日、ジャマテイ大統領は手続きの簡素化等の改革を行い、88位を目指すを発表した。

◇主要経済指標◇	2021年			2020年	2019年
	5月	4月	3月		
インフレ率 (前年同月比)	0.16%	0.11%	0.33%	4.82%	3.70%
貿易収支 (百万ドル)	△1,071	△1,029	△884.9	△6,692.3	△8,710.9
輸出 (百万ドル)	1,088.1	1,050.0	1,266.6	11,514.2	11,170.5
輸入 (百万ドル)	2,160.0	2,079.3	2,151.5	18,206.5	19,881.4
外貨準備高 (百万ドル)	18,929.7	18,812.2	18,699.8	18,468.2	14,789
外国からの送金 (百万ドル)	1,236.7	1,231.7	1,285.6	11,340.4	10,508.3
為替レート (対ドル月平均)	7.71	7.71	7.72	7.72	7.69

(出典：中銀、国立統計院)